

# 戦 評

大会名 天皇杯・皇后杯全日本バレーボール選手権大会岩手県予選会

男子 女子 ・ 準決勝 ・ 決 勝

会場名 : 盛岡大学体育館

主 審 : 佐々木 良子

副 審 : 紺野 美穂

試合結果

岡崎建設Owls 1  $\left\{ \begin{array}{l} 27 - 29 \\ 25 - 18 \\ 13 - 25 \end{array} \right\}$  2 MASTERPIECE

試合時間 1 時間 12 分

戦 評

3年連続優勝を目指す岡崎建設OwlsとMASTERPIECEとの決勝。

序盤、岡崎建設はレフト三ヶ森を中心に攻撃を重ねリードする一方、MASTERPIECEはライト高橋（賢）にボールを集めて追いついた。その後一進一退の攻防が展開されたが高橋（賢）のスパイクにより第1セットを先取。

第2セット、岡崎建設はサーブで相手のレシーブを崩して主導権を握り、リードを保ったままこのセットを取りセットカウント1対1とし第3セットを迎える。

3セット目、MASTERPIECEは好サーブの連続から岡崎建設に攻撃の隙を与えず、多彩な攻撃で得点を重ね3年ぶり3回目の優勝を掴んだ。

戦評者: 千葉 かおり

岩手県バレーボール協会 広報委員会